

(春日井市)タクシー活用の効率化に資する 複数配車戦略を持つ共同配車システムの実証事業

【企画提案書概要版】

課題認識 全国的に公共交通を支える人材の不足が懸念される中、タクシー運転手の人員不足は深刻であり、春日井市においても、年々輸送人員や輸送回数が減少している。また、令和6年4月1日に施行されたハイヤー・タクシー運転者の改善基準改正により、運転者の1日の拘束時間が13時間以内になるなど、より一層の運転手不足が懸念されている。

事業内容 複数配車戦略を持つ共同配車システムによる タクシー活用の効率化の検証

1. 当日稼働車両のリアルタイム配車を効率化

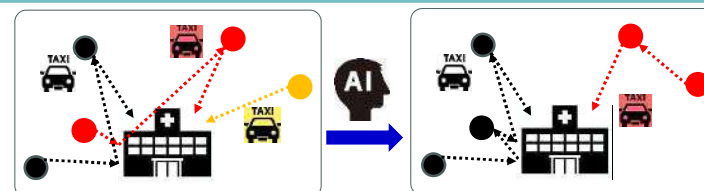
- 各事業者の単独予約では非効率的であり、依頼を受けることができないケースもあるが、複数事業者のタクシー車両にタブレット等を配付し利用者からの直接のリクエストを受け付ける。
- 車両母数拡大によるマッチング率拡大を目指す。

2. 前日までの事前予約をバッチ計算処理により効率化

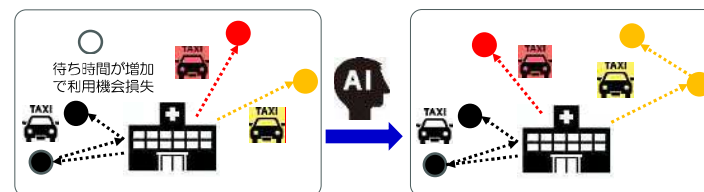
- システムに入力された事前予約をバッチ計算により並び替え、最大効率化することで、最小限の車両で予約対応を目指す。
- 複数事業者による事前予約のバッチ計算による共同配車は全国初。
- リアルタイム、事前予約ともに「事前料金確定」で使いやすく。

3. MaaSアプリ、モビリティ・マネジメント事業との連携

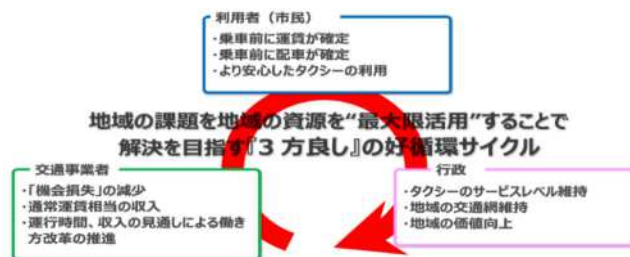
- 過年度に愛知県スマートシティモデル事業において使用したMaaSウェブアプリ「move! かすがい」とシステム連携。
- 市が独自に進めるモビリティ・マネジメント事業との連携を図ることで、移動サービスの提供のみならず公共交通の利用促進の側面からの働きかけも実施。



【共同】バッチ処理配車にて、事前予約配車依頼の対応車両数が1台削減される場合（乗合効果もある場合）のイメージ



【共同】リアルタイム配車にて、追加で1人の輸送が可能になる場合（乗合効果もある場合）のイメージ



事業体制



将来性

- 利用者の利便性確保の観点から、実証実験期間中の効果検証を踏まえ、モデル事業終了後も別予算の充当による事業継続を検討
- 利用者、交通事業者、行政それぞれの視点による事業検証を踏まえ、地域の課題を地域の資源を最大限活用することで3方良しの好循環サイクルによるビジネスモデルを確立していく